

第3回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（すごい学校創造部会）概要について

1 日 時 平成30年11月12日（月） 19時 ～ 20時45分

2 会 場 神戸小学校 図書室

3 出席者 【委員】
すごい学校創造部会員8名
【教育委員会事務局（教育総務課）】
職員2名

4 議 事

(1) 江山地区義務教育学校のめざす教育について

○3校の管理職と教務主任で構成する小中連携委員会で協議したところ、学校教育には「知育・徳育・体育」の3つが必要で、端的に表すよりも長い目で見て包括的な表現がよいのではないかと、子どもにも分かり唱えやすい文言が良いのではないかとという意見があったことを報告した。

その後、これらをもとに部会員で協議を行い「めざす子ども像」と「特色ある教育」について、議事資料のとおりとして提案することとした。

【委員意見】

- ・「めざす子ども像」についての理由として、「生きることの土台は丈夫な体であり・・・」という言葉が出てくるが、障がいのある子もいる中で、気になる表現である。
- ・障がいがあっても、障がいがあるなりに「丈夫な体」になろう、健やかに成長していこうという意味にも解釈できると思う。
- ・「めざす子ども像」として「心も体も健やかに、たくましく生きる子ども」とあるが、「生きる」という言葉が低学年には少し難しいのではないかと思うので、9年間が終わってもさらに成長するという意味合いも込めて「伸びゆく」というような表現にしてはどうか。
- ・「生きる」には、「今を生きる」とか「将来に向かって生きていく」というような色々な意味合いがあり、包含的になると思う。

(2) 進捗報告会について

- ・各地区での報告者及び出席者の分担を行った。
- ・すごい！学校創造部会の検討事項、これまでの検討内容についてスライドを用いて説明することとした。

(3) ブロック制と生活時程について

○「ブロック制」について、現在の義務教育学校の実施状況も考慮しながら意見交換を行ったところ、「4-3-2」制が良いのではないかと意見が多く出た。次回までに、各部会員で考えをまとめた上、「ブロック制案」の決定に向けて再度

検討を行うこととした。

「生活時程」については、現在の美和小が実践している午前5時間授業をどうするかということも含め、ブロック制が決定してから具体的な検討を行うこととした。

【委員意見】

- ・ 5年生くらいから自分の身の回りだけでなく、ぐっと視野が広がってくる。
- ・ 英語について、5年生から外国語活動から教科になる。また、家庭科などの新しい教科も入ってくる学年になる。
- ・ 生徒指導の方法について、5年生くらいから中学校のような指導を行った方がいい場面も出てくる。
- ・ 5年生くらいから、具体的な考え方だけでなく抽象的な考え方もできるようになる。
- ・ 5年生は、上の学年を見本として育ててほしい気持ちがある。
- ・ ブロックの区切りの段階で、教科担任制など指導方法を一度に切り替えるのは子どもにとっても大変なので、配慮が必要である。
- ・ 教職員の人事異動や、他の義務教育学校とブロック制等に違いがある中で、うまく学校を機能させていくためには、教職員の間で毎年、教育理念をしっかりと確認しながらやっていく必要がある。
- ・ ブロック制を設ける意義は、ブロックの最後に「こんな子どもを育てる」という目標をつくり、着実に「めざす子ども像」に近づけていく教育を行うことにある。

5 その他

- ・ 次回の部会を、12月17日（月）19：00～20：30 神戸小学校で開催。